



令和5年度  
福島小学校だより

ふくしま

第4号 9月6日  
八女市立福島小学校  
校長 郷田 純一

## 全国学力・学習状況調査の結果：目標達成です！

【成果指標】国語95.6、算数95.1を超えました。

【学力の状況】 ※あくまでも学校で身につける学力の一部です。成果と課題を次に生かすことが肝要です。

6年生で実施される全国学習状況調査では、5年生時の県の学力調査をもとに、上記のような成果指標を掲げていました。本年4月に実施された調査の結果が夏休みに来まして、全国平均を100としたときの正答率は、国語102.7、算数96.0で成果指標を超え、目標達成です。5年生時の県調査からも大きく得点を伸ばしています。特に、国語の記述式の問題だけ見ると107.2という結果ですので、国語科の考える力は大きく伸びています。また、本校は国語に比べ算数の正答率がやや低い傾向にあるため、算数科の基本的な授業づくりの再点検に更に力を入れていきます。

【学習の状況】

全国と比べ、いい傾向だった項目：「学級生活をよりよくするために学級会で話し合って解決方法を決めていますか」

「人が困っているときは進んで助けていますか」

「図書館や地域の図書館にどれくらい行きますか」「読書は好きですか」

全国と比べ、課題の残った項目：「友達関係に満足していますか」

「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることなることはどれくらいありますか」

「PC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」

本校では、本に親しんでいることが国語の学力向上に寄与していると考えられます。また、子どもたちは、友達関係に課題を感じているものの、友達との助け合いは意識的にやれているようです。今後も、「幸せな気持ち」になる機会を増やせるよう取り組んでいきたいと考えています。

## 地域を大切にする子どもの姿：夏休みのちょっといい話

8月9日朝。地域の方からマックスバリュー付近でビニル袋を拾っている子どもを見かけたとのお褒めの電話がありました。

8月9日の朝のこと、地域の方から上記のようなうれしいお知らせがありました。本校では、めざす児童像に、「ふるさと『ふくしま』を愛する子ども（地域愛）」「まわりを思いやる優しい子ども（豊かな心）」を掲げています。この子どもの行為は、地域の皆様がゴミのない気持ちのよい環境の中で生活できることや、地域を通行するドライバーや歩行者に思いをはせ、その安全を守ることにもつながる価値の高い行為です。教職員もこれまで、ふるさと「ふくしま」を教材とした授業の展開や環境教育に取り組んで参りましたが、保護者の皆様の常日頃からの家庭教育の賜とっております。ありがとうございました。私も見習わないといけないなと思いました。

## 校舎の外壁工事が順調に進んでいます！

8月25日の登校初日から、事務所の東側に新しい扉を設置してその扉を開けて登下校を行っています。少しだけ遠回りとなりますが、安全第一で進めたいと思っていますので、ご理解をお願いいたします。

さて、ご覧のように、中校舎と北校舎の西側が黒いメッシュシートで覆われ、今現在は、その中で外壁の下地補修が行われています。下地補修が終わった後には、いよいよ塗装工事等に移っていく予定となっています。